

# ベトナム・ホーチミン市出張報告書

2014年10月21日～25日

群馬大学大学院 理工学府 電子情報 小林研究室 修士1年 王俊善

「ベトナム、最高だ！」と自分がそう感じました。  
4日間の旅でしたが、一生 忘れない経験だと思います。

## 一日目——歓迎日

ほぼ6時間の飛行時間でようやくホーチミンのタンソンニャット国際空港につきました。当地は1年を通して日本の夏のような気候ですが、雨季と乾期があります。雨季は5月から10月ごろ、乾期は11月から3月ごろといわれています。4日間滞在して毎日にはわか雨に降られることでした。湿度が高く蒸し暑いという最初印象でした。



## 初日の歓迎パーティ

## 二日目——学会初日

学会初日は招待講演が行われていました。ベトナム電子回路研究者の現状や、電子企業の状態など話を伺いました。現在、ホーチミン市は政策としては半導体事業に力を入れるつもりそうです。今後はたくさんの電子設計、生産などの人材を育てるという目標が目指しているそうです。



招待講演者・主催者全員での集合写真

### 三日目——発表日



私の口頭発表の姿

下記発表しました。

Junshan Wang, Kentaroh Katoh, Congbing Li, Ensi Li, Yutaro Kobayashi, Takeshi Chujo, Daiki Hirabayashi, Haruo Kobayashi

“Digital FPGA Implementation of TDC With Self-Calibration”  
The 3rd Solid State Systems Symposium – VLSIs and Semiconductor Related Technologies (4S-2014) and The 17th International Conference on Analog VLSI Circuits (AVIC2014)

### 四日目——観光日



聖母マリア教会

ベトナム最大の都市ホーチミンですが、町そのものの規模はそれほど大きくありません。小さな町ではありますが、魅力的なお店が多く隅々まで回ると様々な楽しみを見つけられるはずです。

ホーチミンの観光スポットは、メインストリートであるドンコイ通りから歩いてまわれます。このエリアには、ホーチミン観光のハイライトともいえる中央郵便局、聖母マリア教会にいたっては町を挟んでいるだけなので、簡単に回ることができます。

ホーチミンから 1 時間半ほどでクチに到着します。クチはベトナム戦争を語る上で欠かせない場所です。約 20 年をかけてほられた全長約 250 キロ「クチトンネル」は一部が開放されており見学できます。地上を歩いている限りは何とこのない雑木林ですが、ここの地下には細かいトンネルがまるで蟻の

巣のように掘られています。



ここには射撃ができるコーナーがあり、当時には大量の実弾が残されましたため、軍用銃のフルオート射撃が安くできます。相当に威力のある銃らしく、ヘッドフォンをきけているにもかかわらず大音響に耳が痛かったです。



## 最後

四日間しかありませんでしたが、非常に充実した日々を過ごしました。この度、国際学会を出席させていただき小林先生と論文ご指導をいただいた加藤先生、学会参加のアレンジをしていたたいた石川先生に、誠に感謝申し上げます。